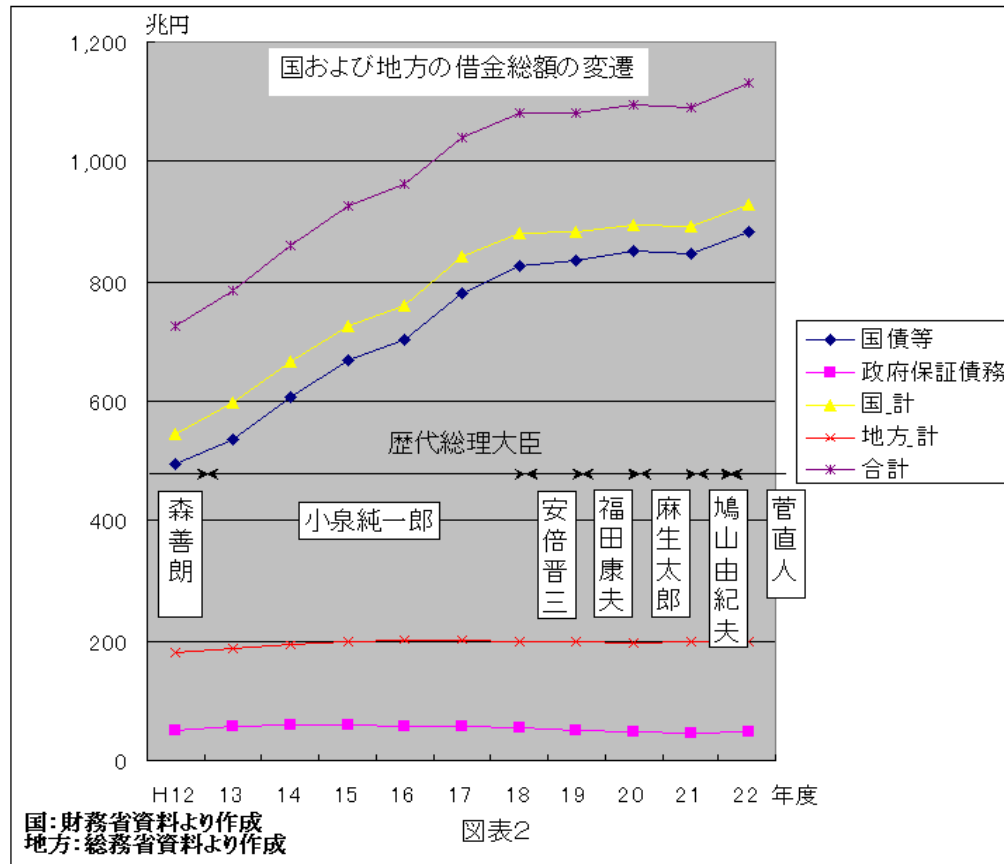




小泉首相のときに借金総額が急増して、安  
 着実に増加していることが分かる。  
 これを見ると、国および地方の借金総額が



す  
 ら  
 み  
 せ  
 て  
 い  
 る  
 。

す  
 。  
 示

移  
 を  
 示

額  
 の  
 推

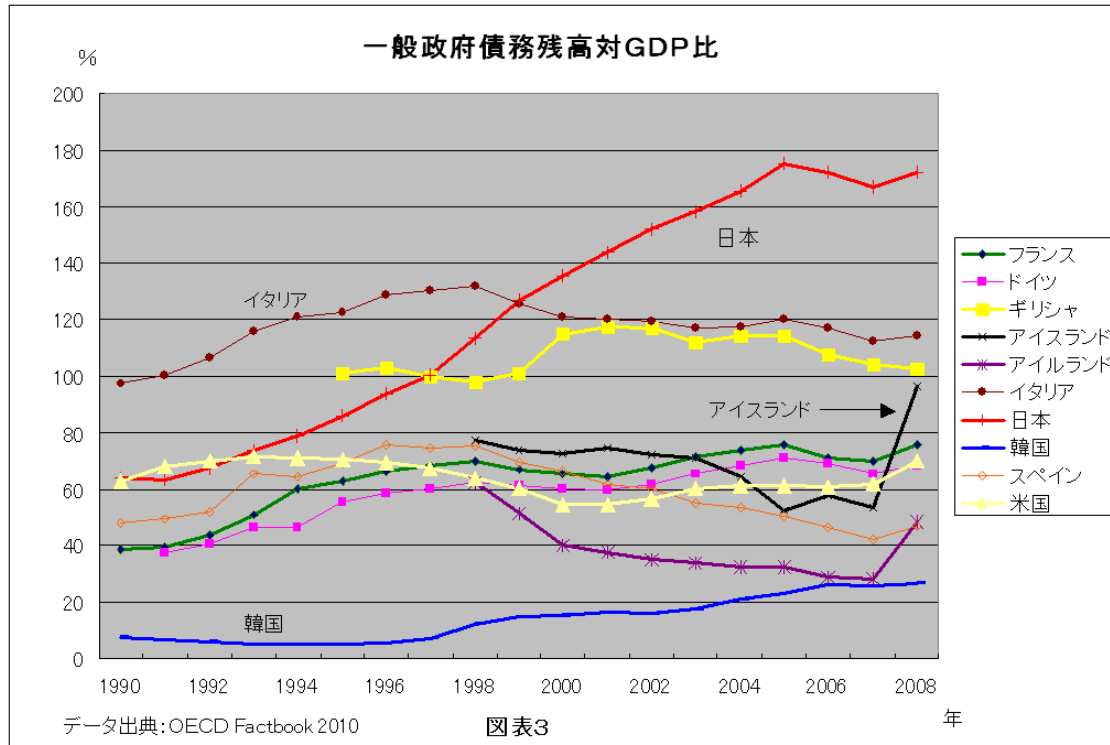
借  
 金  
 総

地  
 方  
 の

お  
 よ  
 び

に  
 、  
 国

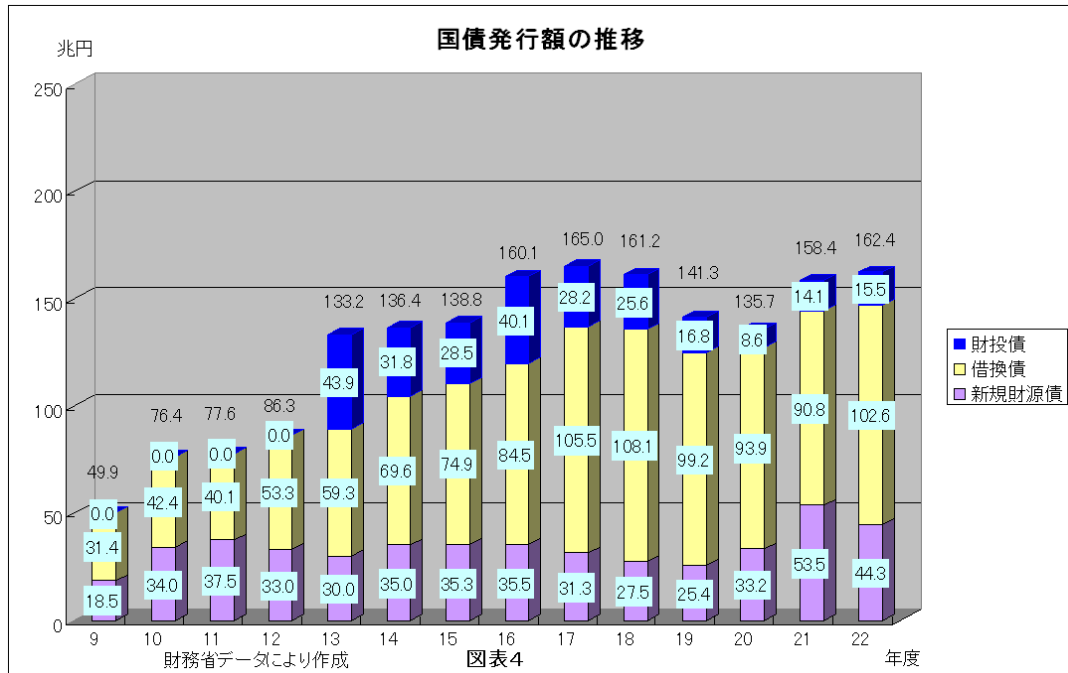
2  
 「  
 図  
 表



図表3

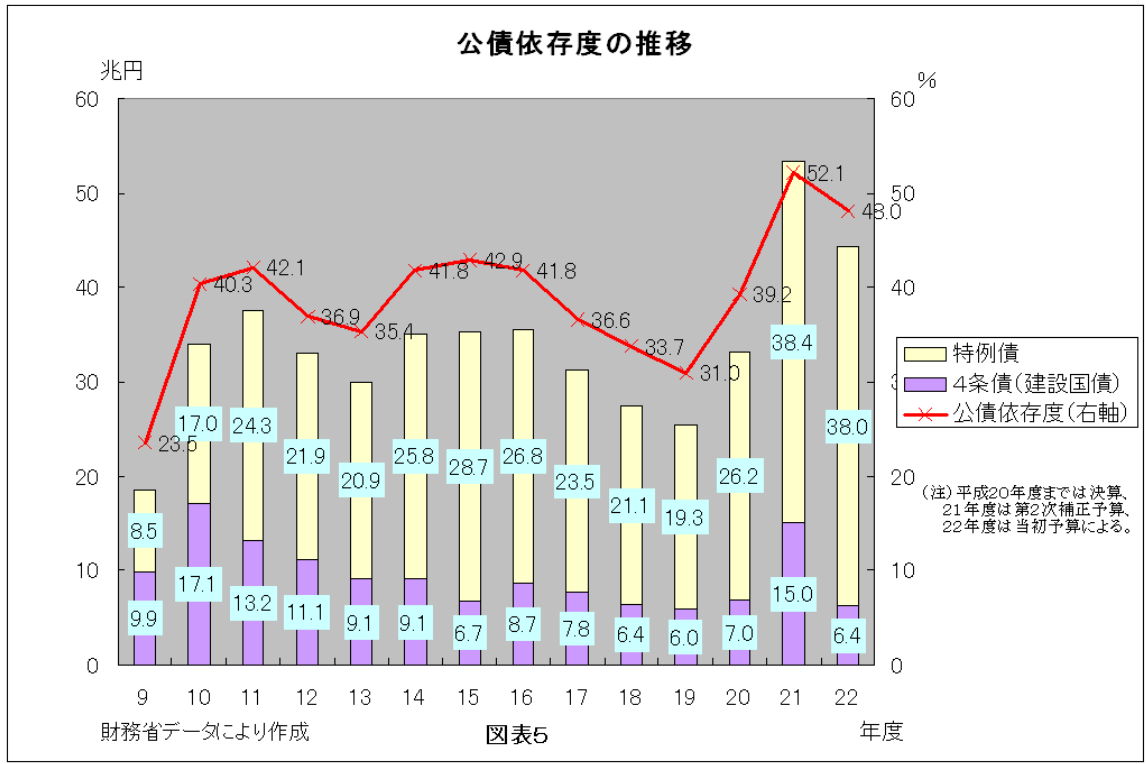
結んだ、と言おうのが正しい。の後は改革を実行して、安倍政権以降に実を対策のために歳出を一時的に増やしたが、そのし、小泉政権の発当初は確かに景気けたようにも見え。倍・福田・麻生各首相が、急増に待ったを掛

のヤ綻か、るがす国残に  
 ぼのしるの突日。際高、  
 る倍た。が出本の比の政  
 し近ギあ良し債務較推府  
 、くリのくて債務を示の務  
 陽にシ破分い務示の務



度 度 し え 初 1 も よ  
と 、 平 て る べ 5 含 る 「  
2 平 成 い 国 1 0 め と 図  
年 成 1 る 債 ス 兆 る 、 表  
連 2 9 。 を ー 円 と 借 4  
続 0 年 発 を へ 毎 換 ー  
し 年 行 超 当 年 債 に

収 支 が 赤 字 で あ る 。  
対 し て ギ リ シ ャ 、 イ タ リ ア は 数 兆 円 、 経 常  
の ぼ る も 事 実 だ 。  
い 上 に 、 何 よ り 経 常 収 支 の 黒 字 は 十 数 兆 円 に  
D P ( 国 内 総 生 産 ) は 、 数 倍 か ら 数 十 倍 大 き  
も ち ろ ん 、 こ う し た 国 と 比 較 し て 日 本 の G  
る 。  
気 で 楽 天 的 な イ タ リ ア を も ぶ っ ち ぎ っ て い



達 2 依 兆 債 れ 新 成 に  
 し ・ 存 円 は る 規 2 よ 「  
 て 1 度 で 、 3 定 発 年 と 図  
 い % が 、 公 ・ の 行 度 、 表  
 る に 5 債 4 国 さ に 平 5  
 。 も

な 成 て  
 つ 2 国  
 て 2 債  
 し 年 発  
 ま 度 行  
 っ には 額  
 た 。 は 減  
 増 えて  
 え しま  
 て いか  
 しま かも  
 い も  
 、 か  
 元 か  
 の わ  
 木 ら  
 阿 ず  
 弥 、  
 に 平

当初予算ではもっと低かったのだが、第2次まで補正予算を組んだ結果、50%を超えてしまった。

これは一般会計の歳入の内、半分超が借金であると言う訳だ。

引き続き平成22年度に新規に発行される予定の国債も44・4兆円と高水準で、平成23年度もさらに増えそうな勢いである。

しかしながら、借金の額は、本当はもっと多いのではないかと疑っている。

様  
 会  
 計  
 と  
 特  
 別  
 会  
 計  
 に  
 分  
 か  
 れ  
 て  
 い  
 る  
 の  
 は  
 他  
 国  
 と  
 同  
 様  
 だ  
 る  
 。  
 日  
 本  
 の  
 行  
 政  
 シ  
 ス  
 テ  
 ム  
 は  
 複  
 雑  
 で  
 、  
 予  
 算  
 が  
 一  
 般

平成22年度 一般会計予算フレーム				
「いのちを守る予算」3つの変革 ○コンクリートから人へ ○政治主導の徹底 ○予算編成プロセスの透明化				
(単位：億円)				
	21年度予算	22年度予算	21'→22'	備 考
<b>(歳入)</b>				
税 収	461,030	373,960	△87,070	○自動車重量税にかかる改正減収△1,660億円。
その他収入	91,510	106,002	14,492	○財政投融資特別会計からの受入れ(47,752億円)、外国為替資金特別会計からの受入れ(28,507億円)等を含む。 <small>(参考) 外国為替資金特別会計については、平成21年度の剰余金(25,007億円)を全額一般会計に繰り入れるほか、平成22年度に剰余金として見込まれる金額から3,500億円を一般会計に繰り入れることとしている。</small>
公 債 金	332,940	443,030	110,090	○公債依存度 48.0% (21年度 37.6%)
4条公債	75,790	63,530	△12,260	
特例公債	257,150	379,500	122,350	
計	885,480	922,992	37,512	
<b>(歳出)</b>				
国 債 費	202,437	206,491	4,053	
地方交付税等	165,733	174,777	9,044	○子ども手当及び児童手当特例交付金2,337億円を含む。
一般歳出	517,310	534,542	17,233	
うち社会保障関係費	248,344	272,686	24,342	
うち経済危機対応・地域活性化予備費	—	10,000	10,000	経済危機対応・地域活性化予備費(1兆円)を新設し、非特定議決国庫債務負担行為限度額(1兆円)の設定とあわせ、2兆円の景気対策。
決算調整資金繰戻	—	7,182	7,182	
計	885,480	922,992	37,512	

(注) 計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計とは一致しないものがある。

出典：財務省

図表6

**特別会計の歳出総額 367.1兆円**

※一般会計から特別会計への繰入れ53.6兆円（国債整理基金特会20.6兆円、交付税特会17.5兆円、年金特会11.9兆円など）

**純計額 176.4兆円**

会計間のやりとり等

10.0兆円	<small>財政融資資金への繰入れ</small> 16.1兆円	地方交付税交付金等 19.3兆円	社会保障給付費 56.8兆円	国債償還費等 74.2兆円
--------	--------------------------------------	---------------------	-------------------	------------------

- 年金や健康保険給付費など、法律に基づく社会保障給付そのものにかかる費用
- 地方財政対策
- 財投資付の原資として、財投債の発行により調達した資金を財政融資資金へ繰り入れるもの等

<10.0兆円の推移>

	21年度	22年度	増△減
保 険 事 業	2.4兆円	3.9兆円	▲1.5兆円 (0.8兆円)
社会資本整備事業	4.2兆円	3.2兆円	▲1.0兆円
エネルギー対策	1.0兆円	1.0兆円	▲0.0兆円
食料安定供給	1.2兆円	1.0兆円	▲0.2兆円
そ の 他	1.2兆円	1.0兆円	▲0.2兆円
合 計	10.0兆円	10.0兆円	0.1兆円 (▲0.6兆円)

※括弧内の計数は、一時的な特殊要因(被用者年金制度の一元化の見送りに伴う予備費の増0.7兆円)を除いたもの。

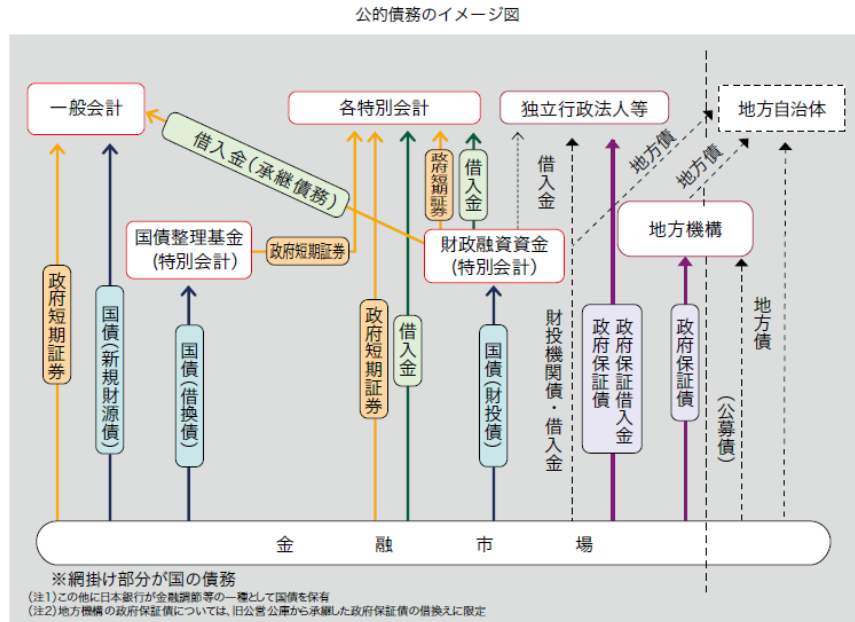
出典：財務省

図表7 特別会計の歳出総額

1 と 7 別 表  
7 り た 兆 会 6 2  
6 が だ 円 計 1 0  
兆 含 、 も 予 〽 1  
円 ま 3 あ 算 の 0  
に れ 6 る ( 歳 年  
な る 7 。 「 出 度  
る た 兆 図 総 の  
。 め 円 表 額 場  
、 に 7 が 合  
そ は 〽 9 、  
れ 特 〽 2 一  
を 別 の 兆 般  
除 会 歳 円 会  
く 計 出 に 計  
と 間 総 対 予  
純 での 額 し 算  
計 の や 3 、 (〽  
額 は り 6 特 図



余金ではなく借金からできている、使えない  
 が、「埋蔵金」の多くは、本来の意味での剰  
 余金ではなく借金からできている、使えない  
 ことも事業仕分けで分かっていた。



出典: 財務省

図表8

資 た で こ も 発 を 含 は (一  
 産 一) き と と ム 行 指 ま 、 「  
 等 と る で や ダ に す れ 特 埋  
 も 呼 と と 考 ら 頼 る 別 蔵  
 あ ば 考 り を 省 ず 会 金  
 る れ え 繰 省 くと 計 に と  
 の 残 り く と の 金 に と

図表8は、公的債務の流れをイメージ  
 した図である。債務はいろいろなところへ複  
 雑に流れている。特別会計から独立行政法人  
 等への予算支出もあるため、隠れ借金を見抜  
 くのが困難だ。もちろん、最近話題のいわゆる「埋蔵金」

1000兆円の借金ってどれ位？  
 切りりのいい100兆円の借金を、生まれ  
 たばかりの赤ちゃんを含めて日本国民1人当  
 たりには換算すると、780万円となる。  
 4人家族なら約3000万円、郊外に行  
 けば、一軒家が買える借金を知らぬ間に抱え  
 ていることになる。  
 これでは、持ち家を持ちたいのなら2軒分  
 建てないといけない。  
 この1000兆円という天文学的な数字、  
 想像もつかないような巨額さだが、1に続い  
 て0が15個も並ぶ。  
 1000兆の10倍が1京けい、めったにお目  
 にかかるとのこと無い単位であるが、それに近  
 づきつつあると言うことである。

例え、ば年1%の金利と仮定しても、1秒間  
 で31万円、1分間で190万円、1時間  
 で11億円。

たった1日で270億円、1年間で10兆  
 円の利子がつく。

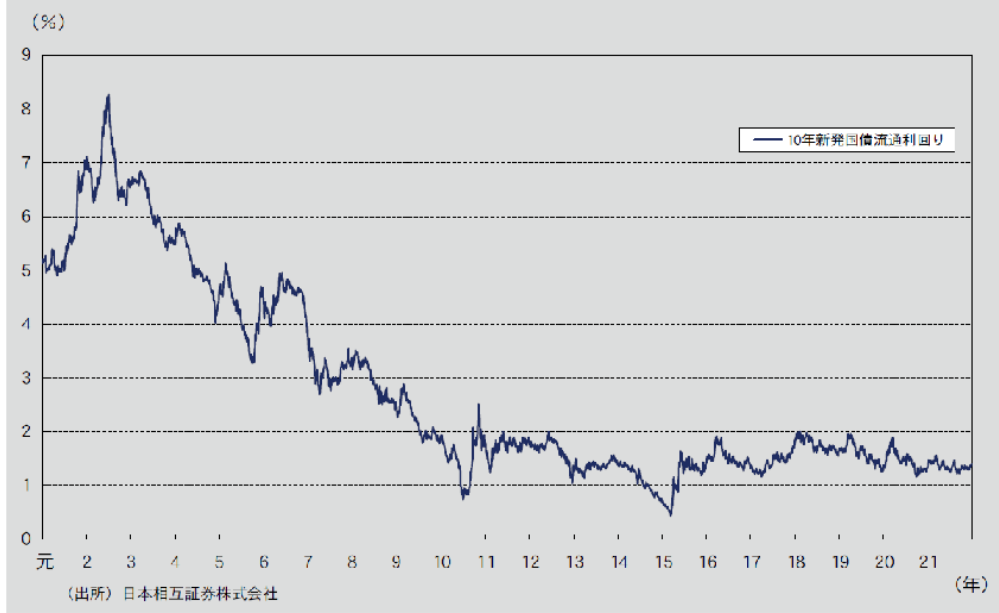
実際の平均金利は、財務省発行の債務管理  
 リポートによると平成22年3月末  
 で1・36%（利付け国債のみで、割引国債  
 は除く）である。

だから、100兆円の借金に対して利払  
 いは年間、約14兆円にもなる。

最近の10年新発国債利回り（いわゆる長  
 期金利）は歴史的にかなり低いレベルにあっ  
 て、少し前まで1%を割っていた。

だから、満期が訪れた国債を借り換えして  
 いくと平均金利が下がっていき、利払いも増  
 え、ず、だから破綻しないという人がいる。

長期金利の推移



図表9

だ を の て 額 て に り 率  
 。 示 利 1 面 ー お つ ー ー こ  
 し 息 年 金 利 ー お く い ー ー こ  
 た が 間 額 率 。 て ー ー ー で  
 も 付 で に ー 解 価 利 ー ー  
 の く 何 対 は 説 格 回 ー ー  
 か % し ー し ー ー 利

が 下 国 債 発 行 額 の 増 加 以 上 に 長 期 金 利 が 下 が っ  
 て いる から だ 。 明 ら か に 財 務 省 と 日 銀 は 金 利  
 だ 。 て いる の に 、 利 払 い 費 は わ ず か に 増 え た だ け  
 前 には 、 長 期 金 利 が 5 % を 超 え て い た 。  
 「 図 表 9 」 に よ る と 、 確 かに ほ ん の 十 数 年  
 そ れ を 考 え る と 、 国 債 残 高 が 何 倍 に も な っ

利率は、国債発行時の市場の実勢により決定され、償還まで変わらない。

「利回り」は、購入した国債の1年当たり運用益をパーセントで示したものだ。

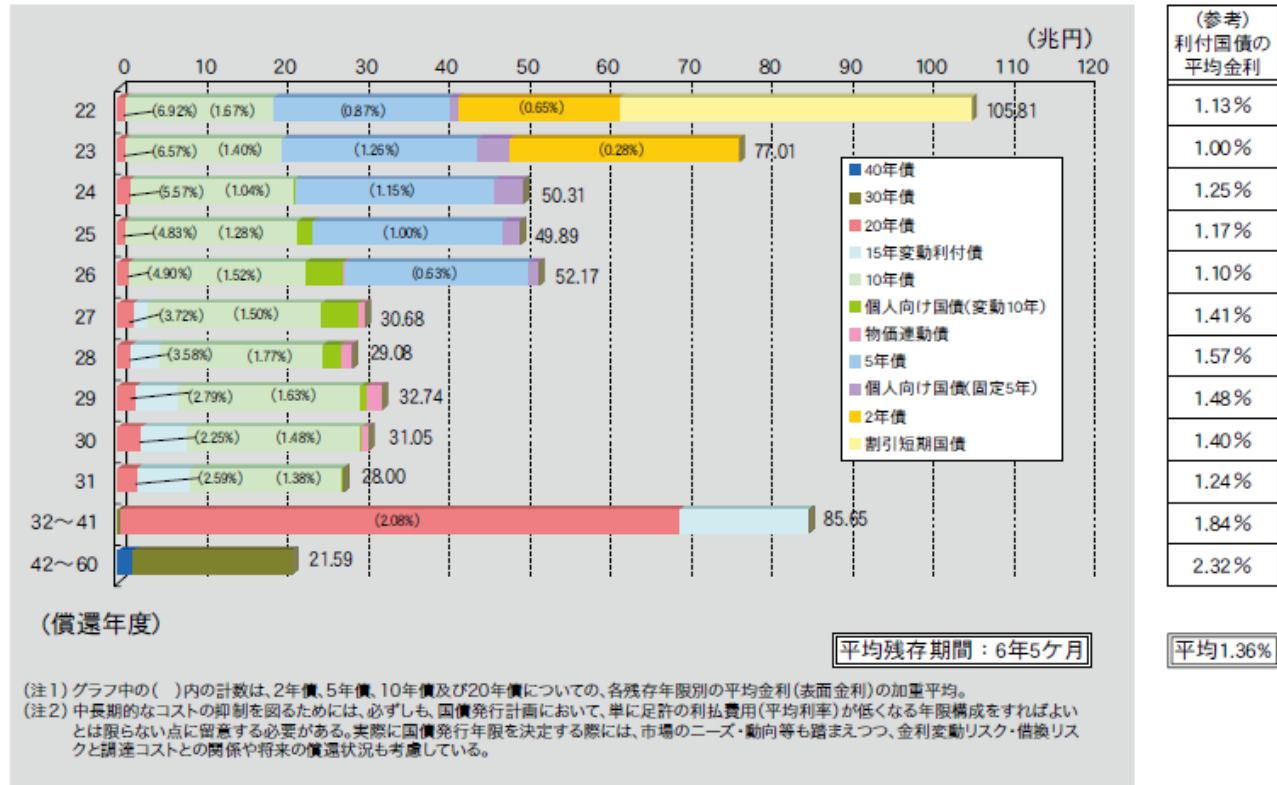
購入「価格」が高くなると、最終利回り（運用益）は低くなり、逆に価格が低くなると、最終利回りが高くなる。

しかし、「図表10」を見ると、平均金利はもうそれほど下がらないし、何らかの悪材料によって急に上昇する可能性もある。

現実には1987年9月に「タテホ・シヨツク」が起きた。

は、バブル期に債券先物取引に失敗し、アートの在庫の鉄鋼向け材用電マグネシ

普通国債残高の残存年限別構成及び各残存年限の利付国債の平均金利（平成22年3月末）



出典：財務省

図表10

売上高の4倍に当たる285億円の損失が明るみに出た。ピーク時には同社の総資産の7倍以上に当たる2000億円を債券投資に振り向けていた。その額の大きさ、一気に債務超過に陥ったことなどから第2のタテホが出るのではないかといった不安心理が拡がり、債券市場から一気に資金が逃げ出した。そして発覚から3日間で長期金利が1%も上昇した上に、その後4ヶ月足らずで2・5%から6%まで急上昇する事態となった。

現在では、金利が1%上昇すると10兆円程度、利払い費が増加するので、金利が5%へと4%上昇するだけで約40兆円の利払い費が増え、それだけで平成22年度の国全体の税収をも超えてしまうことになる。

もちろん、上昇した長期金利は新規に発行

する国債や借り換えする国債から適用されるので、一気に40兆円も増えるわけではない。

本書では平均金利を1%とかなり低く仮定した上で計算をし、話を進めていく。実際には、平均金利は最低でも1%位までしか下がらないので、破綻までの日数が短くなることこそあれ、先延ばしになることはない。

## リアルタイム財政赤字カウンター

この借金総額がリアルタイムに変化するウェブサイトがある。

例えば、「リアルタイム財政赤字カウンター」10 (<http://kh-web.org/fm/>) など数多くある。これらのサイトを見てみると、ほとんど借金が増えていき、2分弱で1億円増加してしまいくラクラシそうだ。



務不履行するの、か、というのがこの議論の  
 のか、返せないのなら、いつデフォルトへ債  
 はたしてこの100兆円を返していける  
 る。  
 万トンになり、大型タンカー1隻分にもな  
 かないような額なのだ。  
 20往復もできてしまう。とにかく想像もつ  
 1万円札を横方向に並べていくと、月まで  
 間に突入してしまう。  
 キロメートルとなり、大気圏から外れ宇宙空  
 1000兆円を1万円札で重ねると、1万  
 とになる。  
 為、2分弱で1億円の借金が増加するこ  
 30兆円を超える国債を発行している  
 円の利子が付くと書いたが、毎年新規に  
 利と仮定したとき、1分間に1900万  
 先程1000兆円の借金で年1%の金

テーマである。

まずは、日本国債のデフォルトの定義を確認しておく必要がある。

デフォルトとは、本来政府が約束した期日に利子や元本の支払いを履行しなかったり、条件を途中で変更したりする場合を指す。

本書では、国債を誰も買わなくなった場合もデフォルトと呼んでいるが、売れなくなっ  
てしまったら、利子すら払えなくなっ  
てしまっ  
う。

『日本国デフォルト』という題名は、  
「債務不履行」というより、その結果として  
起こる「破綻」の意味合いが強い。

日本政府は平成11年度からは試案とし  
て、平成15年度からは「国の財務書類」と  
して、バランスシート（貸借対照表）を公表  
しているが、毎年約200兆円を超える債務  
超過となっている。

に 使 個  
 し え 人  
 た ば 人  
 論 借 や  
 調 金 企  
 を を 業  
 展 返 に  
 開 せ 貯  
 す る 金  
 る な が  
 評 ど あ  
 論 と る  
 家 、 の  
 が 人 で  
 結 の 、  
 構 お そ  
 い 金 の  
 る を お  
 が 当 金  
 、 て を

に 結 び つ く 。

国のバランスシート(貸借対照表)		(単位:兆円)	
<資産の部>		<負債の部>	
現金・預金	23.7	政府短期証券	88.5
有価証券	99.3	公債	681.3
未収金等	14.6	借入金	22.2
貸付金	163	預託金	14.7
運用寄託金	125	公的年金預り金	136.3
貸倒引当金	△2.5	退職給付引当金等	13.4
有形固定資産	182.7	その他の負債	26
無形固定資産	0.3	負債合計	982.2
出資金	54.5	<資産・負債差額の部>	
その他の資産	4.2	資産・負債差額	△317.4
資産合計	664.8	負債及び資産・負債差額合計	664.8
出典:財務省		図表11	(平成20年度末)

政 オ け 産 な る 4 る  
 府 ル れ し し く 企 こ 兆 よ  
 へ ト ば か な 倒 業 と 円 う  
 日 す 日 し い 産 で が の に  
 本 る 本 、 の だ あ 分 債 国  
 国 か 国 誰 だ 。 、 ば かる 超 3  
 の 、 は 買 。 国 間 。 過 1  
 破 日 デ わ は 違 7  
 綻 本 フ な 倒 い あ ・

の 表 右 側 の へ 資 産 ・ 負 債 差 額 〓 に 示 さ れ て い  
 「 図 表 1 1 」 に 平 成 2 0 年 度 末 に お け る 国

脳天気と言わざるを得ない。  
そんな人たちは税金も国債発行も同じだと  
乱暴なことを言う。  
税金は現世代が払うが、国債は「60年償  
還ルール」と言っていて、借り換えを行いな  
ら、60年で完全に償還されるので、子や孫  
も巻き込まれる。  
赤字国債（特例国債）については、以前は  
借換債の発行を行っていないが、厳しい  
財政状況の中で、借換債がなしくずし的に発  
行されるようになってしまった。  
こうして知らないうちに子や孫の世代まで  
巻き込まれていくのだ。  
ちなみに広辞苑では、デフォルトとは「債  
務不履行。特に発展途上国で、対外債務の元  
利支払が不能となった状態を指す。」と、記  
述されている。  
だから、通常は外国に対する債務の意味だ

と思われるが、日本国民から借りたお金も債務には違いない。

日本もついに発展途上国に逆戻りしたのかと残念でならないが、外国人投資家の間では新衰退国へニュー・デクラインング・カントリーとも呼ばれ始めている。

そうだとしても国民自ら改革ができないのなら仕方がない。

「借りられたのだから返せるでしょ」と言うのは簡単だが、あなたなら本当に返せますか。

## 日本の借金総額とは

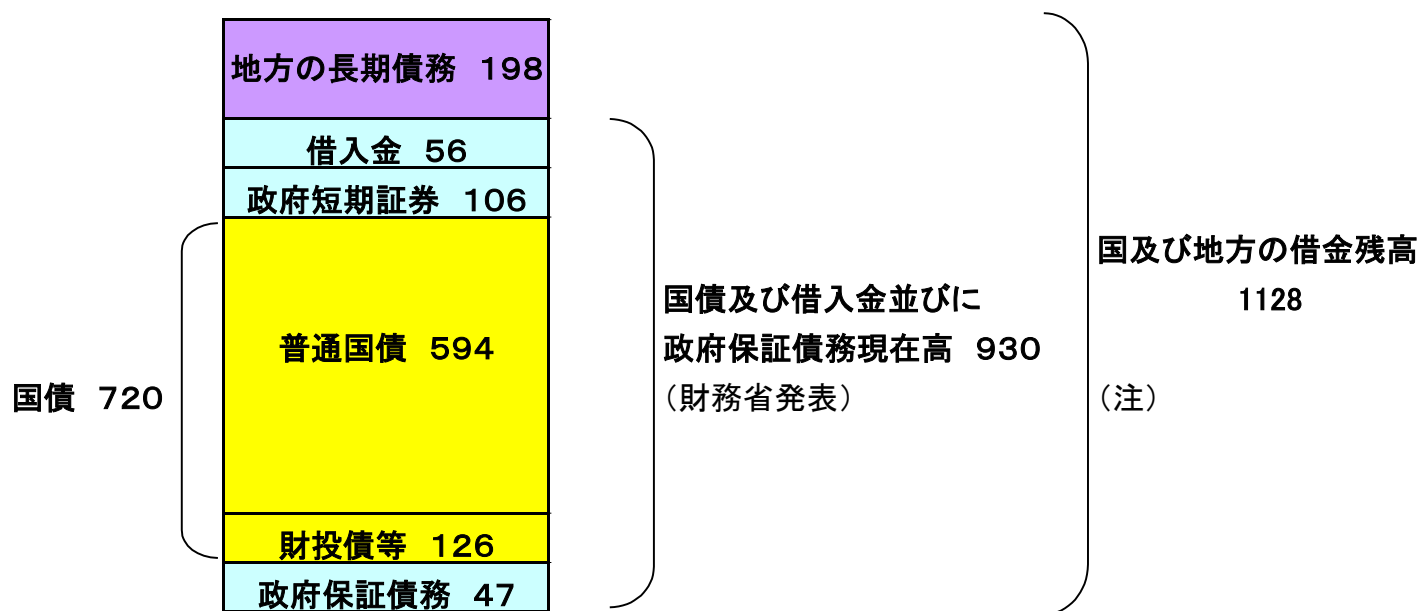
実は日本の借金総額と言っても、多くの統計が存在する。「図表12」の平成22年3月末の数字で見よう。

まずは、政府債務として公共投資に充てた建設国債（財政法第四条で、「国の歳出は、公債や借入金以外の歳入を以て、その財源としなければならない」と規定されていて国債発行を原則禁止しているが、但し書きで公共事業費などについては、国会の議決を経た金額の範囲内で建設国債の発行を認めている）や税収不足を埋める赤字国債（特例国債）などを含む普通国債は594兆円ある。

これに一般会計や特別会計の借入金などを加えた621兆円が日本の長期債務残高となる。

他に短期債務なのだが、政府短期証券  
（一時的な歳入不足時に発行される）とい  
借金が106兆円ある。  
さらに地方債などの地方の長期債務が19  
8兆円あり、財務省が公表している「国及び  
地方の長期債務残高」は819兆円になる。  
ただ、この地方の長期債務198兆円には  
国の方でもダブルでカウントしている30兆  
円弱があるので、少しは減らすことが可能で  
ある。

図表12 政府債務の種類(平成22年3月末現在) 単位(兆円)



(注)・地方の長期債務198兆円には、国の借入金である地方交付税特別会計の借入金を含む。  
 よって地方と国でダブっている債務がある。  
 ・四捨五入のため、合計が合わない場合がある。



また、内閣府の国民経済計算（SNA）では、平成21年12月末で一般政府の負債は101兆8千億円となる。日本銀行が公表している資金循環統計では、平成21年度末で、1002兆円にも
 ぼる。

一般政府の負債に含まれていない債務に財政投融資特別会計国債（財投債）がある。財政投債は、日本国債の一種で普通国債と発行や金融商品としての特性もまったく同じであるが、財政投融資に充てられる財源となることなどが相違している。

財投債とは別物で、政府保証債と財投機関債は特殊法人等が発行する債券である。IMFの基準では財投債も国の借金となつてはいるが、平成21年度末で残高が122兆円（図表12）では、借入金も含めて財投債等で126兆円と表示もある。

他方、特殊法人等に対する政府保証債務が平成21年度末時点で47兆円ある。政府保証債は、政府機関や特殊法人等が発行する債券のうち、政府が元本や利子の支払いを保証しているものであるが、国債より若干利率が高い。

日本の借金をざっと見てきたわけだが、複雑過ぎていくらかあるのかわからないというのが本音だ。

**破綻するとどうなるの**

破綻するとどうなるのかを考えておかなければならない。どうなるのかわからないと手の打ちようが無い。

まず、経済活動がすべてストップする。ATMに行ってもお金が自由に下ろせなく

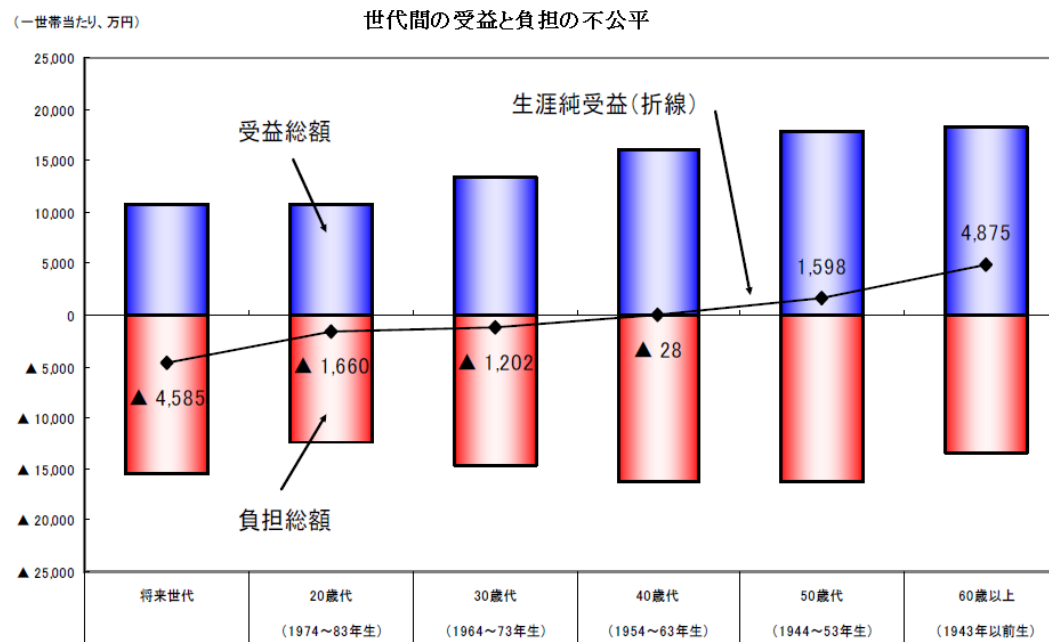
なっってしまう。これを預金封鎖と言う。自分の個人口座なのに。生活費だけは下ろせるようになる。株式市場もほとんどの銘柄がストップ安を繰り返した後、市場自体が閉鎖されてしまふ。株・債券・日本円がトリプル安になる。ただ、これらは早く落ちる分、政府から対策が打ち出されれば、戻りも早い。インフレになるだろうが、ハイパーインフレにはならないだろう。やはり現在の日本は、デフレ圧力がすさまじい。土地の価格も下がるだろうが、もう結構下がっているので、それ程でもないだろう。下がれば買いたい外国人もいる。とにかく、給料も下がるだろう。公務員はなおさらだ。ボーナスも下がるし、全く出ない所も増える。

恐らく経験したことの無い事態になるだろう。リーマン・ショックレベルの話では無い。現在の日本人が初めて見る光景が広がるだろう。昭和20年、第二次世界大戦での敗戦のよ  
うな経済戦争での敗戦後の日本である。

### 反破綻論者の言い分

日本が近い将来破綻するという言い分に反  
対する人々へ反破綻論者と呼ぶことにする。  
が少なからず存在する。  
言ってみれば楽観論者なのだが、私も国債  
以外のことについては結構楽観的だが、国債  
については見過ごすわけにはいかない。  
孫や子が大変な思いをするからだ。良い思  
いなどまったく味わうことも無く、悪い思  
いだけが残る。

益超だが、20歳代はもろのこ、その  
 ていて、60歳以上に至っては、かなり受  
 とか40歳代以上までは受益と負担が均し  
 公平さを示す図表を見ると一目瞭然だが、何  
 「図表13」の「世代間の受益と負担の不



(出典)内閣府「平成17年度版 年次経済財政報告」 図表13

将来世代においては完全に負担の方が重くの  
しかかってくる。  
我々大人は多額の借金のお陰で良い思いも  
しているはずだ。ぴんと来ないかもしれない  
が、仕事もあって家も持てたはずだ。  
車も2台以上ある家庭も多いし、大画面の  
液晶テレビやパソコンだってある。退職金や  
年金で海外旅行三昧の人もいるはずだ。  
でも、最近の若者は高校・大学を卒業して  
も仕事が見つからない恐怖におののいてい  
る。  
以前テレビを見ていたら、大学を卒業して  
も就職口が見つからないので、専門学校へ入  
学する子もいると報じていた。  
世も末だ。  
非正規雇用では結婚もむずかしいし、自家  
用車も持てず、車の国内販売が低迷してい  
る。

売れるのはおじさん好みのエコカーやハイブリッド車だけだ。ゆっくり走るプリウスやインサイトをあちこちで見かけるようになった。将来、年金ももらえるか分からず、国民年金の滞納が増えている。若い人たちは皆、将来が不安なのだ。我々大人が作った借金や年金などの公的な仕組みの破綻が心配なのだ。だから、少しでも不安が無くなるように道筋を早く作ってあげなければならぬ。

### 榎原英資 | 元大蔵官僚の超楽観論者

まず反破綻論者の1人目は、榎原英<sup>えい</sup>資<sup>すけ</sup>氏である。榎原氏は官僚時代に「ミスター円」と呼ばれ、現在は青山学院大学教授を務め、テレビでもおなじみの顔だ。

竹中平蔵氏との対談の中で、まだ200兆円ほど国債を発行する余裕があるので、あと5年ほどはかなり大量の国債を発行しても大丈夫と発言している。

ちなみに竹中氏は、余裕はあと3年と認識しておられるようで、筆者も竹中氏の考えに近い。

榊原氏の言い分によれば、5年すると20兆円の余裕も無くなり、極めて危険な状態に陥ることになる。だから、今対策を始めるならまだ余裕があると言うべきだ。

又、榊原氏はただこのままの状態が続くと10年先は心配で、4〜5年以内に財政再建策を作らなくちゃ、とも述べている。

榊原氏にも心配な面があるようだが、全体的なトーンとしては、日本は絶対に破綻しない、と超楽観的だ。



ただ、デフレの一因に中国などの低賃金国との競争があるとの認識は、筆者と一致している。

## 増田悦佐 | 元証券会社マン

2人目は、増田悦佐<sup>えさ</sup>氏である。

増田氏は20年以上にわたり証券会社に勤務し建設・住宅・不動産分野を担当された。

増田氏の論理には賛成できる点も多いが、とにかくかなりの楽観論者のようだ。2050年の日本を、意図を持って超楽観的に予想している。

増田氏の一つ目のポイントは、超低金利の現在、国債の借り換えを行えば利払い費が減っていくので問題がないというものだ。

これは確かにその通りなのだが、これから今までのようには減らないのと、一度金利が上がりに始めたら、即刻ゲームオーバーになる

る恐れがある。

又、本書でも取り上げている永久債の発行を提案されているが、規律を守って行い、余裕があるとき償還していければ有効だと思われる。

### 三橋貴明 | 2ch でブレークした超売れっ子

3人目は、三橋貴明氏である。  
最近、超売れっ子の三橋さんで、2010年夏の参議院議員選挙にも自民党比例区から立候補していた。

三橋氏の言い分は、「世界最大の対外純債権国が財政破綻するなどあり得ないからだ。」とか、「国内向け債務の問題で破綻した国など、これまで一度も聞いたことがない。」などと、破綻論者に対しては、最も手厳しい論調なのに、説得力はない。

確かに一度も聞いたことは無いが、日本が  
ならないと言う保証にはならない。日本が初  
めての国になるかもしれない。  
自ら売りにしているだけ**は**あって、確かに  
データ・グラフをふんだんに使用しているの  
は認めるが、ほとんどイメージでこき下ろし  
ているのが現実だ。  
三橋氏は「〇〇は大ウソ」という最近流行  
の切り口で分かりやすく、一般受けするかも  
しれないが、最も良くないのは、「経常収支  
黒字国は絶対に破綻しない」という論理であ  
る。  
確かに毎年経常黒字が発生し貯蓄に回って  
いるのは事実だが、その黒字自体は20兆円  
弱程度で、しかも2011年度は東日本大震  
災の影響でぐっと減りそうだ。  
だいたい経常黒字自体がすべて国債の購入  
には回らないし、最近の新規国債発行高は年

間 40兆円を超えるのである。

全然足りない。

それと、だれかの借金はだれかの財産と言  
うけれど、ちゃんと返さないといけない。返  
せなくなったら直ぐに信用不安に陥り、国債  
をだれも買わなくなり暴落する。  
こうして日本をミスリードしても責任をと  
るつもりも無いし、というかとれないし、イ  
ンフレになつたら国債を償還すればいいと、  
しつかり言い訳も既に準備している。



## ブルジョアのまとめ

100兆円を超える借金、想像もつかないような額で、減らせるメドが立っているなら100年掛かっても何時かは返せるが、民主党政権になってバラマキを更にエスカレートさせている。一部のエコノミストたちが、もっと国債をばらまけと言って無責任に煽っているが、何かまずいことが起きても、その手の類はさつと雲隠れするだけだ。それまでは好きなことを言っても責任をとらされることも無い。

東日本大震災で巨大津波が発生したが、津波研究者が過去に起きた最大の津波を想定したシミュレーション結果が出たときに、あまりにも悲惨な結果が出たので、そのままでは公表ができなかったと述べていたことが印象

に残った。  
平和に暮らしているときに、悲惨なシミュレーションを見せられても怒り出す人さえいる。当の研究者は結果をそのまま発表するべきであつただろうか。  
このことが国債のデフォルトにも通じる。なぜ、問題なく暮らしているのにわざと暗い話をするのかと。デフォルトを起こしたくて言っているわけではない。ただ、日本の行く末に心配をしているからである。無責任なことは言えない。

日本国 デフォルト

---

大西 章浩

制作 政経ネット

2011年8月1日

政経ネット

埼玉県東松山市

©政経ネット2011